

災害廃棄物置き場に並ぶトラックの列(上)、道端に集められる災害廃棄物(中)、災害廃棄物置き場の様子(下)



前号では、災害に備えた家屋内の整理・整頓・転倒防止対策につ

ブラウン管テレビは災害廃棄物か？ ～不要なものの処分も防災～

これらの中には、やむを得ず家屋の解体から生じ、災害が無ければ発生しなかった物ですが、一方で、そうではない懐かしい「物」にも被災地では多く出回ります。

みなさんのご自宅には、何が眠っていますか？災害時に少しでも被害を少なくするために、生活再建を少しでも早く実施するために、身の回りの物を見直し、不要なものを処分しておくこと(費用

か。これらの中には、やむを得ず家屋の解体から生じ、災害が無ければ発生しなかった物ですが、一方で、そうではない懐かしい「物」にも被災地では多く出回ります。

例えば、ブラウン管テレビ、古いミシンやピアノ、子どもたちが使っていた教科書や専門書など。大切なものもあれば、単に処分を先延ばしにして残されていたものもあります。

能登半島地震では、全体で約250万トンの災害廃棄物が発生し、自治体によっては通常の100年分以上の量になったそうです。また、災害廃棄物置き場にできるトラックの長さの列や、公園にうす蛇の列や、公園にうす高く積まれる廃棄物の様子など、皆さんも報道で目にしたことがあるのではないのでしょうか。

「これは本当に災害廃棄物ですか？」「今、私たちがやることなんですか？」と、少し戸惑った様子で聞かれたことがあります。その時はどう答えていたか分かりませんが、私たちが持っている物の多さ、生活について考えさせられる瞬間でした。



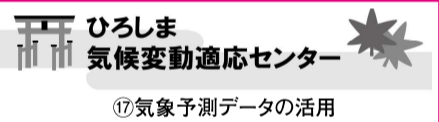
例えば、ブラウン管テレビ、古いミシンやピアノ、子どもたちが使っていた教科書や専門書など。大切なものもあれば、単に処分を先延ばしにして残されていたものもあります。

はかかりますが、も防災に繋がる一つの行動かもしれません。よければ、そんな視点で家の中をチェックしてみてください。

(特定非営利活動法人 ひろしまNPOセンター 増田勇希)

季節商品の需要を予測

気象予測データを活用し、廃棄ロスを削減

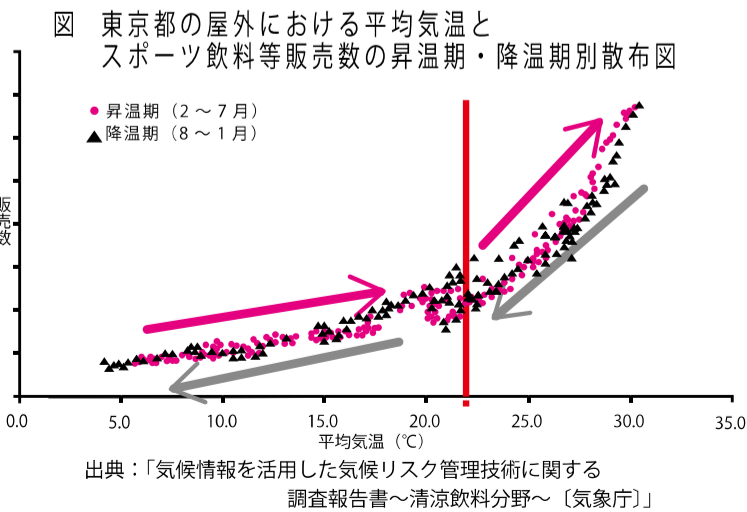


気候変動による気温上昇や短時間強雨など、極端現象の頻度や強度が増すと自然災害が増加し、さまざまな産業・経済活動に影響を及ぼします。気象災害時の影響については、報道などで取り上げられ、ご存じの方も多いと思います。一方で、災害に至らずとも、影響が現れている分野もあります。

商業では、急激な気温変化や大雨の増加などによって季節商品の需要予測が難しくなることや、大雨や台風による売上増減がでることなどが報告されています(気候変動情報プラットフォームによる)。季節商品は需要が高い期間に限ら

れるため、シーズン終盤の売れ残りがロスになってしまいます。そこで、気象予測データをもとに商品の需給調整や季節商品の発売および終売予測を行って、適応する取り組みが始まっています。

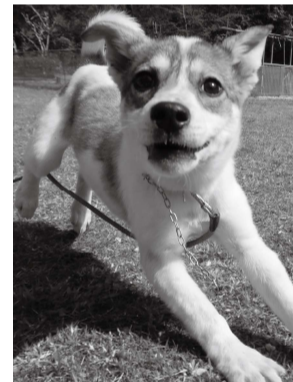
図は東京都のスポーツ飲料などの販売数と平均気温の関係で、気温が高いほど販売数が増える傾向を示しており、特に22℃を超える頃から販売が急増しています。このことは、商品の生産・補充計画を立てるにあたり、気温予測が役立つことを示唆しています。また、冷やし中華つゆの終売予測に活用して廃棄ロスを削減した事例が、一般財団法人日本気象協会から報告されています。ロスの削減は、事業者にとってコストメリットがあると同時にCO2の排出量削減にもなり、



気候変動対策に「適応」と「緩和」の両面から寄与する取り組みです。さまざまな予測技術や研究が進むことで、このような取り組みの増加が期待されます。(ひろしま気候変動適応センター)

出典:「気候情報を活用した気候リスク管理技術に関する調査報告書～清涼飲料分野～(気象庁)」

狂犬病予防注射を受けましょう 年1回の注射義務があります



みなさんは、かつて行政が実施する集合注射会場で飼った犬の狂犬病予防注射を行ってきたのをご存じだと思います。しかし、新型コロナウイルス禍をきっかけに各自自治体で集

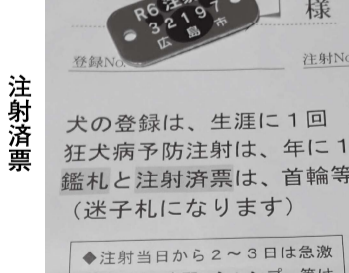
注射の廃止や回数削減が進んでいます。集合注射会場がなくなってしまったら、どうしたらよいのでしょうか？

狂犬病は人を含めたすべての哺乳類に感染し、発症すると効果的な治療法がなく、ほぼ100%死亡する恐ろしい病気です。すくなくとも、動物病院内に行けば、獣医師に動物の健康状態を確認してもらえます。

動物も私たち人間と同じように年を取り、がんなどの病気

な治療法がなく、ほぼ100%死亡する恐ろしい病気です。すくなくとも、動物病院内に行けば、獣医師に動物の健康状態を確認してもらえます。

うがいは理由は、他にもあります。飼育主は、動物の適正な飼育に責任を持ち、日々、動物の病気を予防・健康管理に努める必要があります。動物病院内に行けば、獣医師に動物の健康状態を確認してもらえます。



伝病になることもあります。混合ワクチンの対象疾病や、フィリア症などは、ワクチンや予防薬で防ぐことができますので、きちんと予防することをお勧めします。病気になる前から治療するよりも、予防する方が金銭的にも安く済む場合が多いので、動物病院に相談してみてください。

になることもあれば、けがもします。感染症や、動物種に特有の遺

愛犬のためにも、社会に対する義務としても、必ず年1回の狂犬病予防注射を受けましょう。

広島県健康福祉局 食品生活衛生課